

デラール

DERRARE II

自走型ティルト車いすのベーシックモデル

取扱説明書

必読

必ずお読み下さい

要保管



この取扱説明書は、商品を安全に使用していただくため、正しい使用方法や、注意事項が記載されています。ご使用になる前に必ずお読みください。



カナヤマ HUMAN SOLUTION **マシナリー株式会社**

〒938-0801 富山県黒部市荻生388-1 TEL 0765-57-3888 FAX 0765-57-3266

お使いになる前に <製品の確認>

製品につきましては、出荷時に十分にチェックをしていますが、製品を搬送中に起こり得る影響で、場合によってはご使用できないことがあります。

開封後、ご使用になる前に以下の点をご確認ください。

- 車輪は四輪とも床に接地していますか？
- 前輪、後輪共にスムーズに回転しますか？
- ティルトレバーで座面の上げ下げができますか？
- ティルトは任意の位置で固定できますか？
- 背角度調整つまみでバックサポートの角度調整ができますか？
- ねじのゆるみはありませんか？

! 不具合があった場合は、直ちにご連絡ください。

目次

■安全にご使用いただくために	2	■制動用ブレーキ	8
■警告	2・3	■駐車用ブレーキ	8
■注意（安全に介助するために）	4	■フットサポートの高さ調整	9
■注意（飛行機にご搭乗される場合）	4	■フット・レッグサポートの脱着	9
■各部の名称と機能	5	■アームサポートの高さ調整と脱着	10
■座面奥行き調整	6	■ティッピングバーの高さ調整と脱着	11
■シート角度の調整	6	■車いすの保守・点検	11
■バックサポート角度の調整	7	■車いすの廃棄について	12
■背シートのベルト調整	7	■ガススプリングについて	13
		■仕様	14

■車いすのシートの調整について

調整は正しく行うことが大切です。

最初に正しく座る姿勢に調整し、次に利用目的に合ったバランスを調整します。

座る姿勢が変わると車いすのバランスも変わりますので、

調整手順を守り快適な乗り心地でお使いください。

お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を説明してあります。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

**警告**

“死亡や重症に至るおそれがある内容”です。

**注意**

“死傷に至ることや、財産の損害が発生するおそれがある内容”です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

**禁止**

“してはいけない内容”です。

**強制**

“実行しなければならない内容”です。

■ 操作のポイントを説明しています。

**要点**

“正しい操作方法や点検・調整のポイント”です。

**警告**

- ① こわれた状態や異常があるときは使用しないでください。

落下、転倒しないように十分気をつけてください。

キャスターや後輪タイヤの脱着後はしっかり固定しているか確認してください。

キャスターや後輪タイヤなどに巻き込まれやすい服装を避けてください。

夜間や暗いところでの走行は避けてください。

積雪、凍結路、ぬかるみ、鉄板の上など滑りやすいところでの自力走行は避けてください。

下り坂でのスピードの出しすぎは危険ですのでやめてください。

運動機能が低下するものを摂取した時は自力走行しないでください。

傘をさしての片手操作は危険ですのでやめてください。

事故や転倒などによるケガのおそれがあります。

- ① 移乗時はフットプレートの上に乗らないでください。

他の乗り物につかまりながらの移動は危険ですのでやめてください。

荒地、悪路には入らないでください。

乱暴な取り扱い、無理な取扱いはしないでください。

車いすを損傷させ、事故や転倒などによるケガのおそれがあります。

- ① 勝手に改造しないでください。

部品の破損や欠損が発生し安全性が低下することで、車いす本体の損傷による事故や転倒などによるケガのおそれがあります。

また、改造や補助動力装置を装着しますと保証の適用から除外されます。

改造、整備が必要なときは販売店にご相談ください。

警告

- ① **調整作業に不安があるときは調整しないでください。**
部品の破損や欠損により車いす本体を損傷するおそれがあります。
- ① **駐車ブレーキはスピード調整に使用しないでください。**
駐車ブレーキは停車時や駐車時の専用ブレーキです。
駐車用ブレーキでスピード調整すると後輪タイヤがロックして転倒によるケガのおそれがあります。
使用者がスピード調整するときは必ずハンドリムを使用してください。
介助者がスピード調整するときは必ず制動用ブレーキを使用してください。
- ① **凹凸の激しいところ（踏切、歩道の段差や溝など）は自力走行を避けてください。**
キャストや後輪タイヤが挟まったり、フレームが損傷したりして事故や転倒などによるケガのおそれがあります。
- ① **エスカレーターの使用は避けてください。**
キャストや後輪タイヤが巻き込まれて事故や転倒などによるケガのおそれがあります。
- ① **ペットを連れて使用しないでください。**
ペットに引きずられて走行が不安定になり、衝突や転倒などによるケガのおそれがあります。
- ① **使用していない時の車いすに幼児や子供を近づかせないでください。**
誤って操作をした場合、キャストや後輪タイヤに巻き込まれたり、可動部に身体の一部を挟んだりして大変危険です。また、転倒などにより車いすの下敷きになるなど、けがのおそれがあります。
- ① **不十分な調整状態で使用しないでください。**
褥瘡（じょくそう：床ずれ）など、身体に負担をかけるおそれがあります。
- ① **気温差の激しい場所や異常に高温な場所（車内や暖房器具の近く）に放置しないでください。**
本体や部品が損傷するおそれがあります。
また、高温になったフレームでの火傷や、熱いシートに座ることで体調に悪影響を与えることがあります。
- ① **掃除をするときは後輪タイヤやハンドリムにワックスや油分をつけないでください。**
滑りやすくなりスピード調整が困難になります。

注意

- ❗ **点検・整備を怠ると故障や事故によるケガのおそれがあります。**
日常点検を行ってください。また1ヶ月に一度は各部品の点検・整備を行ってください。
- ❗ **上半身の不安定な方はベルトを装着してください。**
- ❗ **移乗時、停車時、未使用時は駐車用ブレーキをかけてください。**
急に動き出して事故やケガのおそれがあります。
- ❗ **車いすに乗っているときは歩行者とみなされます。必ず歩道を通りましょう。**
- ❗ **シート類の面ファスナーは確実に取り付けてください。**
- ❗ **面ファスナーに付着した糸くずやホコリなどはこまめに取り除いてください。**
固定力の低下により調整状態が変わり、姿勢に悪影響を与えることがあります。
- ❗ **タイヤを握って走行しないでください。**
後輪タイヤとブレーキの間に手を挟むおそれがあります。必ずハンドリムを握って走行してください。
- ❗ **低温（マイナス温度）での使用、保管はしないでください。**
部品が損傷するおそれがあります。



注意

- ❗ 二人乗りなど多人数での乗車や目的以外での使用はしないでください。
- ❗ 最大体重（積載物含む）は100kgです。体重制限を守って使用してください。
- ❗ 当取扱説明書内に記載の寸法や重量の値には、製造の都合上、多少の誤差がありますのでご了承ください。

【安全に介助するために】

- ⊘ 回転部、可動部に触れさせないでください。
キャスターや後輪タイヤに巻き込まれてケガをするおそれがあります。
- ⊘ 素足で乗せないでください。必ずかかとのある履物を履いて使用してください。

【飛行機にご搭乗される場合】

旅客航空機へのご利用中の車いすの積み込みの可否につきましては、事前にご利用予定の航空会社又は旅行代理店にご相談ください。特に、ティルト、リクライニング車いすなどガススプリング（ガスダンパー）を使用している車いすは飛行機への搭乗可否の判断に日数を要する場合があります。

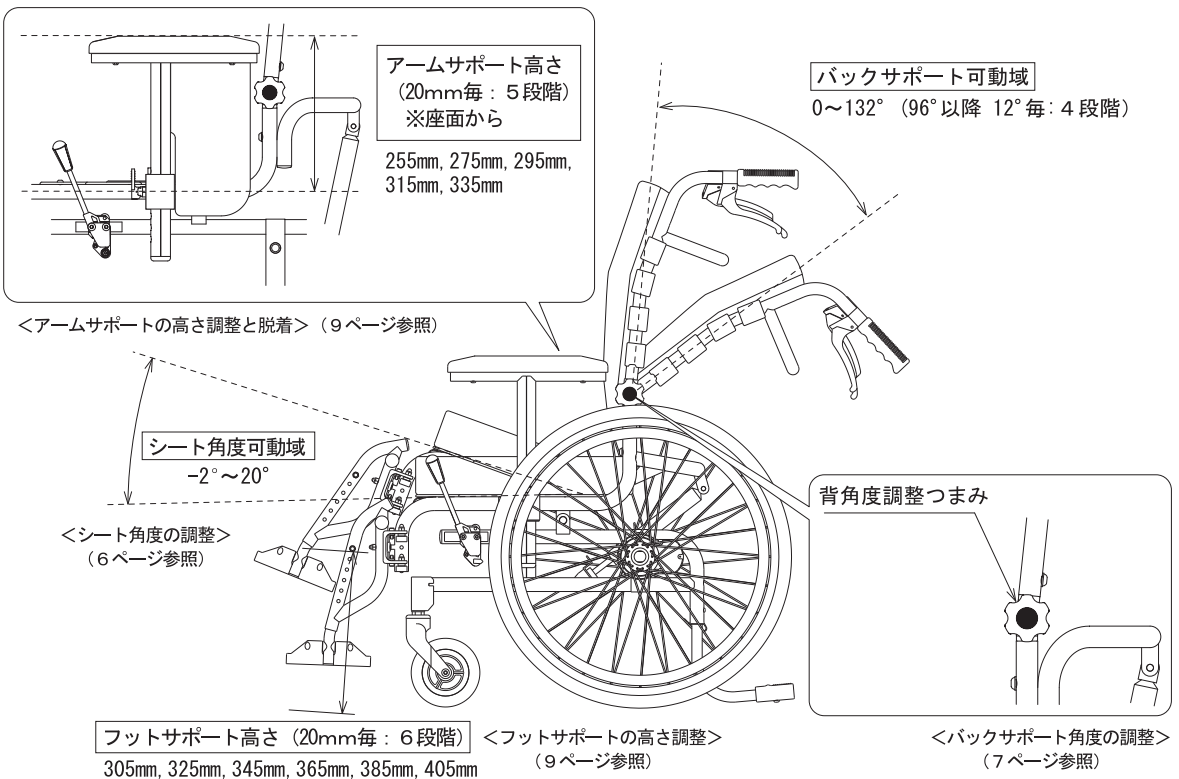
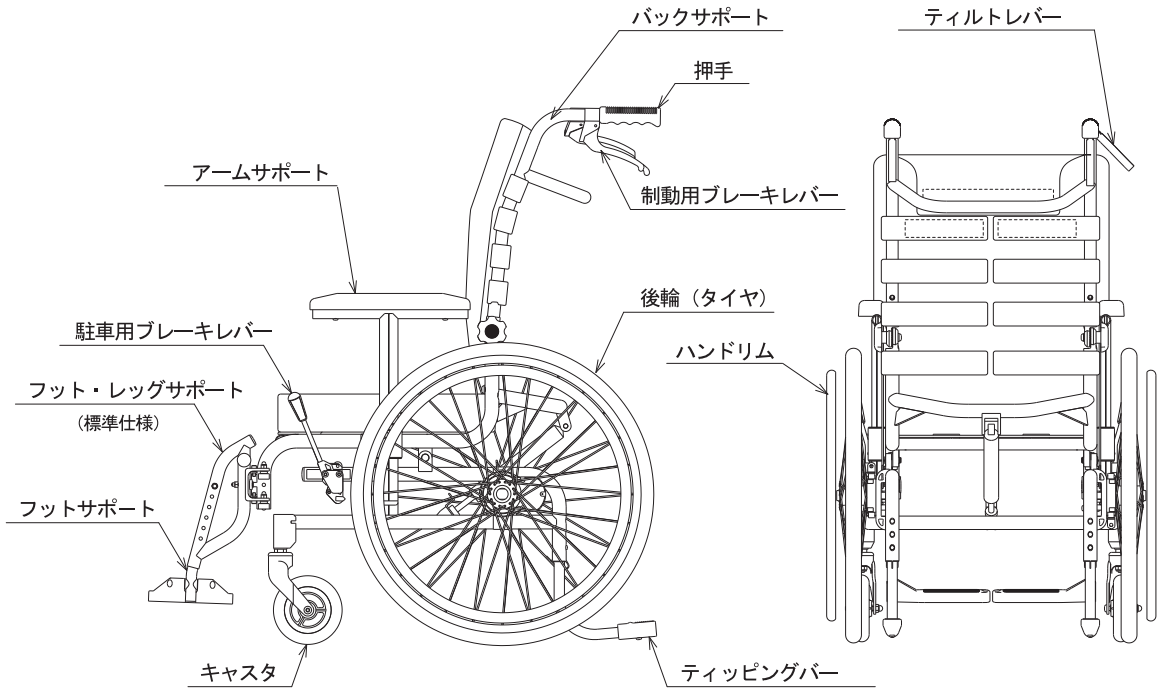
事前の相談や確認なしに旅行当日に空港へ行きますと航空会社での確認作業に時間がかかり、ご希望の便に間に合わなくなることがあります。車いすの搭乗許可が降りず、旅行そのものを取りやめざるを得なくなります。日程に余裕をもって早めに手続きを済ませてください。

本製品に使用しているガススプリング（ガスダンパー）には、“航空輸送危険物該当証明”が発行されています。下記サイトから印刷して利用される予定の航空会社、又は旅行代理店へご持参の上、ご相談ください。（KYP品番：A1150-00289）

<http://www.lappo.com>

各部の名称と機能

※標準仕様とスイングアウト仕様の異なる点は、フット・レッグサポートの着脱機能の有無です。



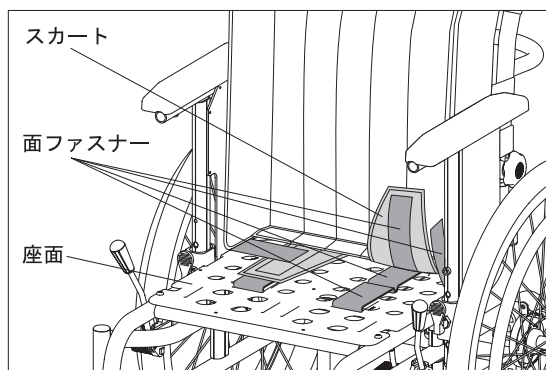
座面奥行きの調整

背もたれから延長しているスカートと、座面はそれぞれ面ファスナーで固定されています。

スカートの位置調整によって、奥行き調整ができ、お尻の形にフィットした安定した座位が保てます。

座り心地の良い座面奥行きが決まったら、面ファスナーでしっかりと固定します。

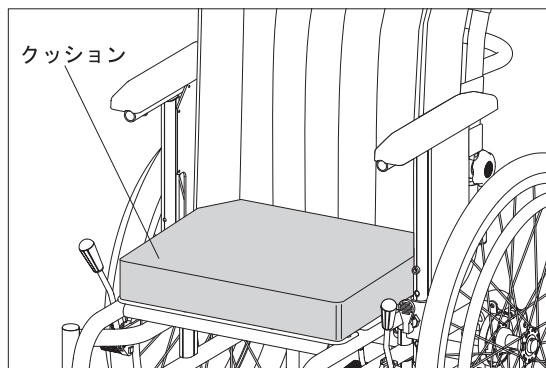
座奥の調整が終わった後に、背もたれとの間に隙間がないようにクッションを装着してください。



📌 要点

実際に、車椅子に乗って操作しながら、動き易い位置や、上半身の安定感が保てる位置、座り心地の良い位置などを感覚で掴んでください。

必要であれば、背シートのベルトの張り具合や、座面や背もたれの角度を変えたりしながら調整してください。



⚠️ 注意

●調整は平坦な場所で行ってください。

シート角度の調整

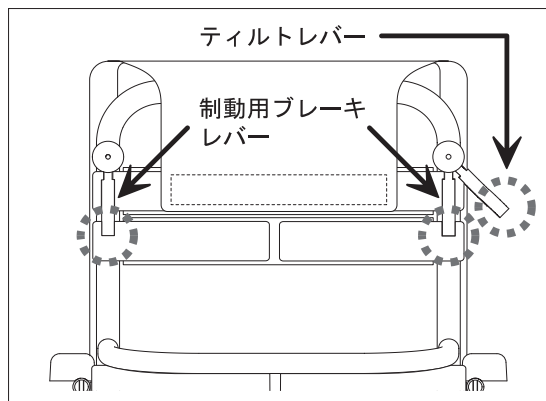
シート角度は、右側の押し手の制動用ブレーキの隣に付いているティルトレバー（白）で調整してください。

適切な角度調整を行うためにティルトレバーの操作は、必ず介助者が操作してください。

⚠️ 注意

●シート角度を調整する際には、必ず駐車用ブレーキを掛けてください。

●調整は平坦な場所で行ってください。



■シート角度の調整の利点

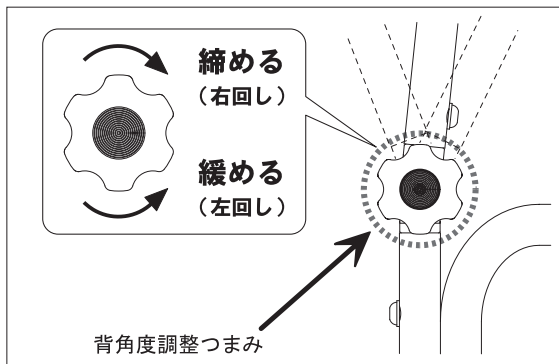
- 操作（足こぎ・手こぎ）しやすい姿勢に合わせることができる。
- 休憩姿勢がとりやすい。
- 食卓や洗面台へのアプローチがしやすい。
- 座面側から姿勢を整え、姿勢の安定、座位姿勢での床ずれの大きな原因となる前滑りの防止や、臀部の除圧効果が格段に高まります。

バックサポート角度の調整

バックサポート角度は、車椅子の側面に付いている背角度調整つまみを回すことによって、
12° 刻み間隔（96°～132°）で調整することができます。

■バックサポート角度の調整による利点

利用者の背中の中のラインに沿った適切な角度調整により、骨盤の位置を安定させることができると同時に、上半身をしっかりと立たせることができます。骨盤の位置が安定することによって、体幹、上肢、頭部が動きやすくなるので、食事や作業、会話などがスムーズに行えます。



注意

- 背角度調整つまみの操作時に、バックサポートが急に倒れることがありますのでご注意ください。
- 背角度調整つまみの操作は、駐車ブレーキをかけてから行ってください。
- 調整は平坦な場所で行ってください。
- 背角度調整つまみの締め忘れにご注意ください。
バックサポートが倒れけがの恐れがあります。

背シートのベルト調整

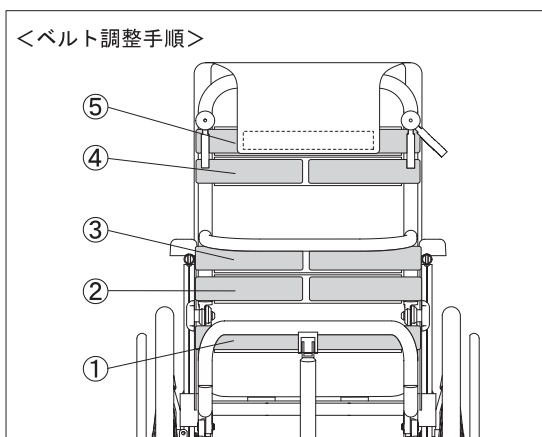
背シートの後ろにある5本のベルトを使って、利用者の背中の中の形に合うように調整してください。

①から⑤（下のベルトから上のベルトに向けて）の順番でベルトの張りを調整すると座り心地の良い状態に合わせることができます。



注意

- ベルトを調整する際には、駐車用ブレーキを掛けてください。
- ベルトの調整は、下から上への順番で行ってください。



制動用ブレーキ

制動用ブレーキは、介助者が車いすの速度を調節するために使用するブレーキです。

坂道や濡れた路面などで、介助者がスピードをコントロールする時に効果を発揮します。

制動用ブレーキは、停車・駐車を目的としたブレーキではありません。

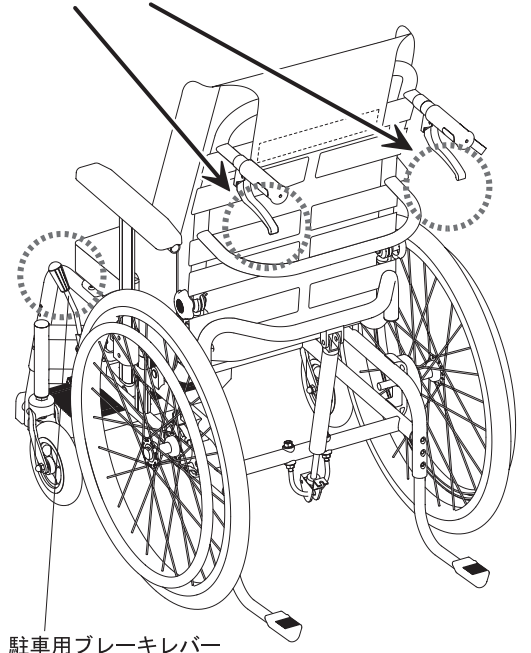
停車・駐車する際には、必ず駐車用ブレーキを使用してください。



警告

- 速度調整以外の目的で、制動用ブレーキを使用しないでください。
- 停車・駐車する際には、駐車用ブレーキを使用してください。

制動用ブレーキレバー



駐車用ブレーキレバー

駐車用ブレーキ

使用者、介助者共に、駐車用ブレーキは、停車・駐車する時のみご使用ください。

車いすの速度調節をする際には、使用しないでください。転倒や故障の原因となります。

速度調節をする場合、使用者は、ハンドリムを使用してください。介助者は、制動用ブレーキを使用してください。

< 駐車用ブレーキの使用方法 >

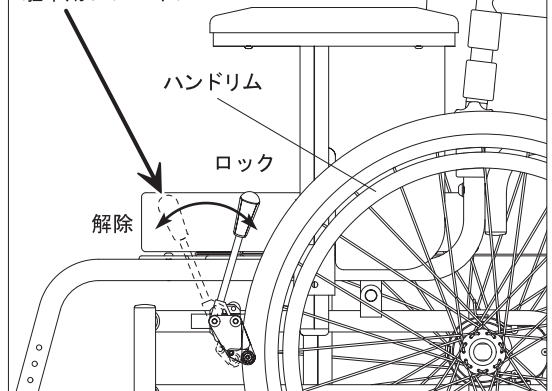
駐車用ブレーキレバーをタイヤ側に向けて倒すとロックが掛かり、駐車用ブレーキレバーの位置を元に戻すとロックが解除されます。

< 駐車用ブレーキの調整方法 >

駐車用ブレーキを固定しているネジを緩めて、駐車用ブレーキ本体を前後にスライド移動させながら、適切な位置に合わせます。

適切な位置に調整することができたら、駐車用ブレーキを固定しているネジを締め付けてください。

駐車用ブレーキレバー



※調整には以下の工具をご用意ください。
スパナ（8mm）



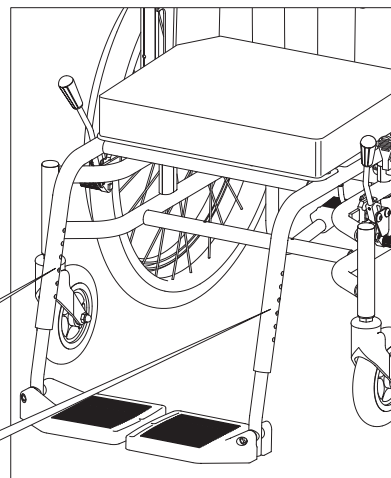
注意

- ブレーキの調整の際には、手を挟まれないように注意してください。
- 走行の際には、駐車用ブレーキのロックを必ず解除してください。
- 停車・駐車以外の目的で、駐車用ブレーキを使用しないでください。

フットサポートの高さ調整

フットサポートの高さ調整は、工具でボルトを外した後、フットサポートを上下に動かしながら、使用者の足の長さにあった高さ（穴位置）に調整します。

※ 出荷時のフットサポートの穴位置は、中央に調整されています。



フット・レッグサポート

フットサポート用穴
(6段階)

止め具

フットサポート

フットサポートの高さ調整の手順

- ①フットサポートをフット・レッグサポートに差し込む。
- ②適当な高さに調整し、ボルトで締める。
(止め具はフットサポートの中に入れる)

※調整には以下の工具をご用意ください。
六角レンチ（4mm）、スパナ（10mm）



注意

- フットサポートの高さを上から1番、2番目の穴位置に合わせた場合、フットサポートと地面の差が大きくなるので、フットサポートに体重をかけ過ぎて前方へ転倒しないようにご注意ください。
- 走行時はフットサポートの高さが地面から5cm以上になるように調整してください。5cm以下ですと、凹凸路面や障害物の上を通る際に、フットサポートに当たり転倒するおそれがあります。

フット・レッグサポートの脱着

スイングアウトは、以下の手順でフット・レッグサポートを着脱することができます。

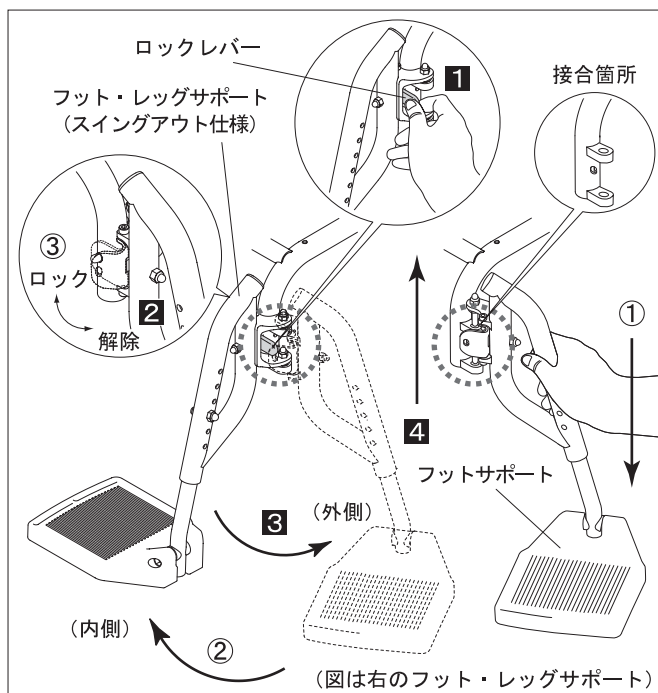
<取り付け方>

- ①フット・レッグサポートを本体の接合箇所に取り付けます。
- ②フットサポートを本体に取り付けた状態で、フットサポートを内側へ廻します。
- ③カチッと音が鳴り、ロックが掛かっている状態を確認することが出来たら、取り付け完了です。

<取り外し方>（スイングアウト）

取り付けとは逆の手順です。

- ①ロックレバーを指で押します。
- ②ロックが解除されていることを確認します。
- ③ロックレバーを指で押したまま、フット・レッグサポートを外側へ廻します。
- ④外側へ廻したままの状態、フット・レッグサポートを引き上げると、本体から外すこと（スイングアウト）が出来ます。





注意

- スイングアウトした状態で移乗しないでください。
必ずフット・レッグサポートを取り外した状態で行ってください。

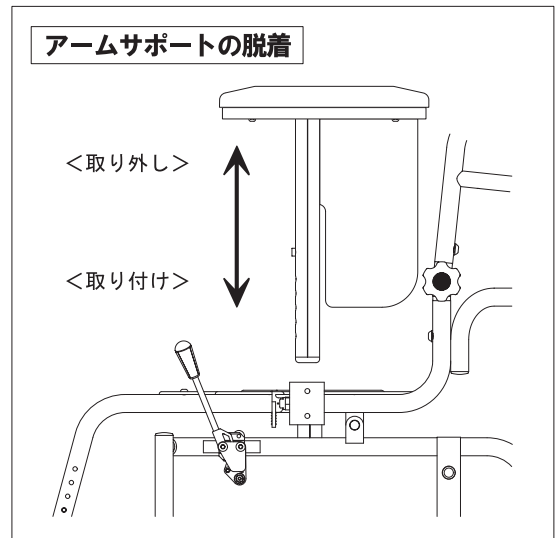
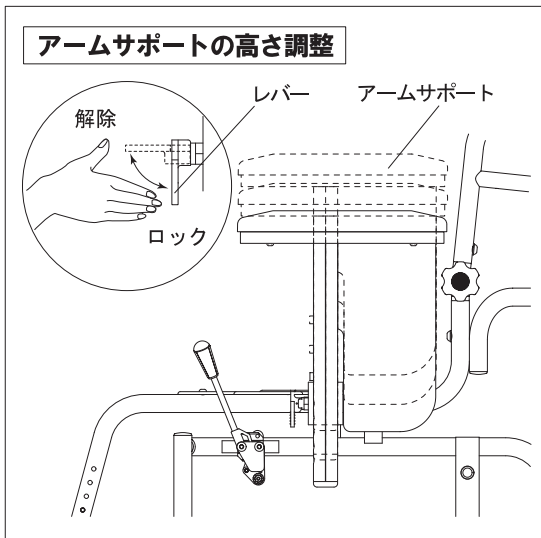


警告

- ロックに、手や足、衣服を挟まないようにご注意ください。

アームサポートの高さ調整と脱着

アームサポートの高さ調整は、レバーのロックを解除して、アームサポートを上げ下げしながら高さ調整することができます。レバーを上げるとロックが解除され、レバーを下げるとロックが掛かります。アームサポートの脱着は、レバーのロック解除時に、アームサポートを引き上げて取り外す事ができます。

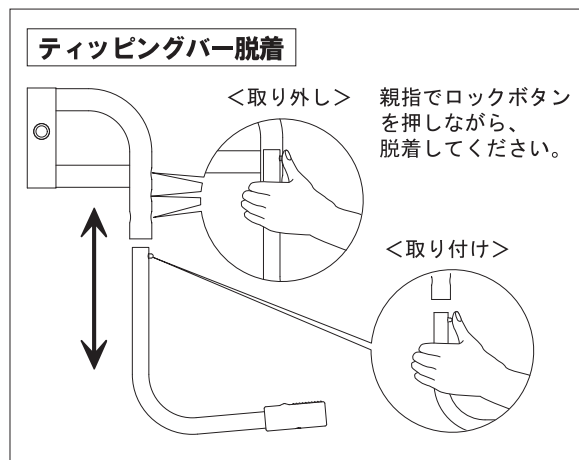
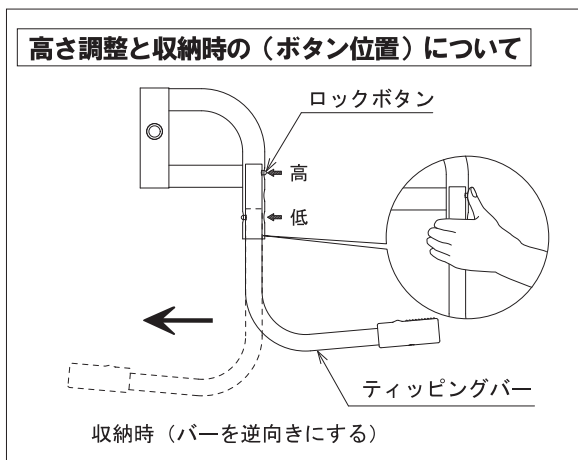


注意

- 高さ調整や脱着の際に、手を挟まないようご注意ください。
- 調整後は、左右のレバーがロックされているかを必ず確認してください。
- レバーに手提げ袋などを吊り下げないでください。
- アームサポートの上にテーブルを装着することはできません。

ティッピングバーの高さ調整と脱着

ティッピングバーの高さ調整は、ロックボタンを指で押しながら解除して、上下に動かして調整します。ロックボタンの穴位置を「低」にした場合、後方への転倒を確実に防ぐことができますが、段差を乗り越える際には、ウィリーの角度が制限されますので、ご注意ください。また、ロックボタンの穴位置が「低」の場合でも、ティッピングバーを回転（収納時の状態に）させることで段差を乗り越え易くすることができますが、その後に、必ずバーの向きを元に戻す事を忘れないようご注意ください。



注意

- ロックボタンの頭が出ているか、確認してください。
- ティッピングバーのボルトが緩んでいないか確認してください。

車椅子の保守・点検

★タイヤの溝は充分に残ってますか？

タイヤの溝の減りが激しいと、走行性やブレーキの効きが悪くなるので、交換が必要です。また、タイヤやキャスターにひび割れが生じた場合にも、交換が必要です。直ちに使用を中止し、お買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

★駐車用ブレーキはしっかりと効きますか？

ブレーキの効きが悪くなったと感じたら、ブレーキの取り付けネジの緩み、ブレーキ本体のガタなどが無いかをご確認ください。もし異常がございましたら、直ちに使用を中止し、お買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

★変な音がしませんか？

変な音がする場合、どこからその音が発生しているかよく確認してください。ブレーキワイヤーが車輪に擦れていたり、ベアリングの油分が不足しているなどの原因が考えられます。直ちに買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

★四輪が地面に接地していますか？

前輪の二輪と、後輪の二輪が接地しているかよく確認してください。四点接地していない場合、フレームのゆがみやネジの緩みなどの原因が考えられます。直ちに買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

★ネジ類が、しっかり固定されていますか？

車いすにガタツキがある場合は、ネジの緩みや脱落が考えられます。直ちに使用を中止し、お買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

★まっすぐ進みますか？

平地で無人の状態の車いすを左右均等な力で押し出してください。進行方向が左右のどちらかに自然に曲がってしまう場合、どこかが歪んでいる可能性があります。直ちに買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

★キャスターや後輪タイヤはしっかり固定されていますか？

キャスターや後輪タイヤを留めているボルトは緩んでいませんか？緩んでいると使用中に突然外れて転倒するなど大変危険です。しっかりと固定されているか十分にご確認ください。

★ワイヤーは切れていませんか？

ティルトのワイヤー、制動用ブレーキのワイヤーは切れていませんか？ブレーキが効かなかったり、転倒するなど大変危険です。安全のためにワイヤーは1年に1度定期的に点検をし、必要に応じて交換してください。

- スパナやドライバーなどの工具を使用して締め付ける場合、薄手の手袋をご使用ください。
- 異常が見つかった場合は、ご使用を中止してください。

★シートに破損やたるみは、ありませんか？

シートは湿気に弱いので、雨に濡れる場所に放置したり、長時間続けて使用すると、破損・たるみが発生します。破損・たるみが著しい場合は、座り心地のよい姿勢を保てなくなりますので、交換をおすすめします。

★車いすやシート類の洗浄には、水、お湯、中性洗剤をご使用ください。

- 車いすが汚れた場合は、水またはお湯で薄めた中性洗剤で汚れをよく落としてから、乾いた布やタオルで、洗剤をよく拭き取ってください。
(吸水性のある布でやさしく拭き取ることがポイントです)
強いオゾンによる消毒は、タイヤの変色や劣化の原因となりますのでお止め下さい。
洗浄後はよく乾燥させてください。カビやサビの原因になります。
- シート類の洗浄も車いすと同様、水またはお湯で薄めた中性洗剤で汚れをよく落としてから、固く絞った蒸しタオルで、洗剤をよく拭き取ってください。
洗剤をよく拭き取った後は、日陰で吊り干ししてください。
塩素系漂白剤は、使用しないでください。

車いすの廃棄について

不要になった車いすは、販売店に処分を依頼するか、お住いの自治体の指示に従って処分をお願いします。



警告

- ⓧ 不法投棄は、絶対にしないでください。
ガスプリングを処理せずに廃棄すると、
爆発事故を引き起こします。
(P13の「ガスプリングについて」参照)

ガススプリングについて

★ガススプリングの取り扱い上の注意



注意

- 摺動部に注油は一切不要です。注油するとシールの耐久性をなくし、油漏れの原因となります。
- 衝撃を加えることは絶対に避けてください。油漏れ、動作不良、破損の原因となります。
- 分解は絶対にしないでください。高圧ガスが封入されていますので、分解すると非常に危険です。
- 曲げ荷重の負担がかかりますと、曲げ方向の剛性が少ないので、取り付けの精度によりロッドが曲がり、動作不良の原因となります。
- ピストンロッドおよびシリンダーに打痕をつけますと、シールの寿命を縮めたり、動作不良の原因になります。
- 周囲の気温があまりに高い、または低い場所でのご使用はなるべく避けてください。
使用条件・保存条件（-20℃～80℃）
- 雨や水のかかる場所、ホコリの多い場所でのご使用は避けてください。

★ガススプリングの廃棄方法

廃棄する際は、次の注意事項を守ってください。この部品は、窒素ガスが高圧で封入してあるため、ガスを抜かずに処理すると、爆発によりけがをすることがあります。

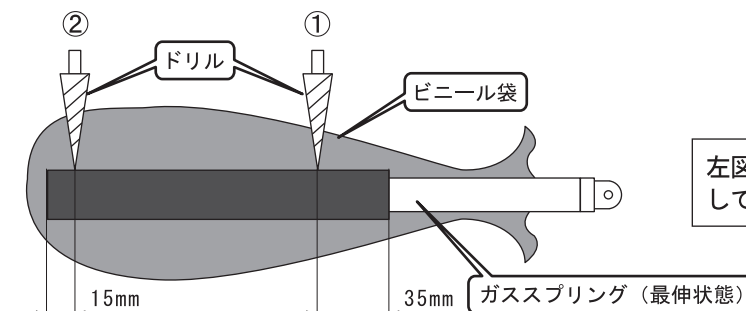


注意

- 押しつぶさない。
- 切断しない。
- 図以外の場所に孔を開けない。
- 火には入れない。

★廃棄の手順

1. ガススプリングを、最伸状態にしてください。
2. ビニール袋をかぶせ、その上から2～3mmのドリルで①の孔を開け、ガス・油を抜いた後、②の孔を開けてください。（※注意 必ず手順を守ってください。）
3. ビニール袋を使用しない場合は、金属粉・油が飛びますので安全メガネを装着し、怪我の無いように十分ご注意ください。下図の要領で孔を開け、ガス抜きをしてから廃棄してください。
 - 廃棄作業の途中で異常が見つかった場合は、作業を中止してください。



左図の要領で孔をあけ、ガス抜きをしてから廃棄処分してください。

仕様

<品名>

DERRARE II デラーレII

座幅		(mm)	400
前座高さ		(mm)	390
後座高さ		(mm)	390
座奥行き		(mm)	400
バックサポート高さ		(mm)	600
アームサポート高さ		(mm)	255~335 (5段階)
フットサポート高さ		(mm)	305~405
全高		(mm)	995
全長		(mm)	940~1300
全幅		(mm)	625
重量		(kg)	18
耐荷重		(kg)	100
折りたたみ時	全高	(mm)	645
	全長	(mm)	930
	全幅	(mm)	625
ティルト角度		(度)	-2° ~20°
キャスト		(inch)	5
後輪 (タイヤ)		(inch)	22
フレーム		(材質)	アルミ・スチール
座面 (ソリッドシート)		(材質)	樹脂 (ポリアミド)
背シート		(材質)	ポリエステル (黒)
クッション		(材質)	ポリエステル (黒)
フットサポート	機能	可	着脱・高さ調節
		不可	前後調節・角度調節
アームサポート	機能	可	着脱・高さ調節
		不可	跳ね上げ・前後調節
バックサポート	機能	可	張り調節・角度調節
キャスト	機能	不可	高さ調節・垂直調節
後輪(タイヤ)	機能	不可	高さ調節・前後調節
押手	機能	不可	着脱・高さ調節
ティッピングバー	機能	可	着脱・高さ調節・収納
座面	機能	可	奥行調節
	機能	不可	着脱

※ 改良・改善の為、予告なく仕様を変更することがありますのでご了承ください。

※ 当取扱説明書に記載の寸法や重量の値と実際の製品の値では製造上、多少の誤差がございます。

ご了承ください。

※ ご不明な点につきましては販売店までお問合せください。

この取扱説明書は大切に保管しておいてください。

■製造元・総販売元

■販売特約店



カナヤママシナリー株式会社
HUMAN SOLUTION

ISO9001、ISO14001 認証工場

荻生工場 〒938-0801 富山県黒部市荻生388-1 TEL 0765-57-3888 FAX 0765-57-3266

2017年 9月